

平成31年度 静岡大学人文社会科学部
夜間主コース社会人入試試験問題
[第2期]

経済学科 [小論文] S2K

平成31年2月24日(日)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子（この表紙を除く）・・・4枚
解答用紙・・・3枚
下書用紙・・・3枚

次の文章は、小塩隆士『「幸せ」の決まり方——主観的厚生の経済学——』（日本経済新聞出版社、2014年）の一部である。この文章を読み、問1～問3に答えなさい。

（著作権未許諾のため未公開）

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

出典：小塩隆士『「幸せ」の決まり方——主観的厚生を経済学——』，日本経済新聞出版社，2014年，113～120頁。ただし，問題文の作成にあたり，省略した箇所がある。

(注1) デイヴィッド・リカード (1772–1823年)。イギリスの経済学者。

(注2) ゲーリー・スタンリー・ベッカー (1930–2014年)。経済学の分析手法を人間行動や社会問題に応用した，アメリカ・シカゴ大学の経済学者。その功績によりノーベル経済学賞を受賞。

問1 下線部 (1) のように，経済学的に見れば「夫は外で働き，妻は家を守る」という夫婦の役割分担を正当化できる理由を，200字以内で説明しなさい (配点20%)。

問2 下線部 (2) の理由を，本文の内容に則して250字以内で説明しなさい (配点30%)。

問3 「夫婦のライフスタイル選択の望ましいあり方」について，日本の現状や本文の内容を踏まえたうえで，あなた自身の考えを400字以内で述べなさい (配点50%)。